

中学校の部 最優秀賞

四国防災八十八話 第40話 弟のおかげ

私たちにできること

内海中学校 1年 ^{ひょうどう}兵頭 ^{かのん}海音

私は、「弟のおかげ」を読み、やっぱり防災の学習は大切だと思いました。

私は、小学生のころからずっと防災学習をしています。だから、地震があったら、すぐに津波のことを考えます。けれど、地域の方の中には「別に避難しなくてもいいだろう。」とってしまう人もいるのではないかと思います。みんなが防災への意識を高めることで、避難を説得する時間もなくなり、安全に避難ができます。私たち中学生や高校生は、子どもたちや高齢者の手を引いて避難することもできるのではないのでしょうか。私は、自分の住んでいるこの地域が大好きです。地域の人たちを守るために、できることはしようと思っています。

先日の内海地域合同避難訓練では、参加していない人が多くてとても残念でした。もっともっと、地域の人たちの災害や防災に対する意識を高めるための活動が必要だということを実感しました。「弟のおかげ」の弟さんのように、地震が起きたときにみんなを避難所に引っ張っていけるようになりたい。そのために、私も冷静に行動できるようにしていきたいと思います。そして、地域や地域の人々、家族を守れるような存在になりたいと思います。

避難経路をみんなで確認をすること。高齢者など、助けが必要な人の避難方法を決めておくことなど、今できることはたくさんあります。「どうしてあのとき、こうしなかったのだろう。」と後悔しないために、後回しにせず、しっかり準備をしておきたいです。これからも、防災への意識を持って生活していきたいと思っています。